

【令和3年度第4回目業務報告 報告内容】

陸前高田市に派遣されてから半年が経過し、岩手県でも紅葉が深まってきました。今回の業務報告では、8月に実施した、令和3年度災害応急対策訓練の様子について、報告したいと思います。また、10月9日に市内で開催された、「三陸花火競技大会 2021」の様子や、10月25日に副市長にお越しいただいた、陸前高田市派遣職員激励及び陸前高田市内視察の様子、10月31日に開催された、「第10回ツール・ド・三陸～サイクリングチャレンジ 2021～in りくぜんたかた・おおふなと」の様子についても、合わせて報告したいと思います。

（報告内容）

- 1 令和3年度災害応急対策訓練について
- 2 三陸花火競技大会 2021 について
- 3 陸前高田市派遣職員激励及び陸前高田市内視察について
- 4 「第10回ツール・ド・三陸～サイクリングチャレンジ 2021～in りくぜんたかた・おおふなと」の様子について

1 令和3年度災害応急対策訓練について

今年5月の新庁舎の完成を受け、8月に、風水害を想定した災害応急対策訓練を実施しました。

この訓練は、本市に大型で非常に強い台風が上陸したことにより、記録的な大雨と暴風となることを想定した庁内訓練として実施され、通常業務に支障のない範囲で、出先機関の職員を除く全職員が参加しました。

訓練は事前訓練と行動訓練に分かれて実施されました。事前訓練では、台風の上陸5日前から災害対策本部設置までの時系列に沿った確認事項や対応を確認し、各課において所属内の対応手順などをまとめたタイムラインを作成してもらいました。また、8月25日に実施した行動訓練では、台風上陸の12時間前、6時間前、6時間後、36時間後、を想定した全4回の災害対策本部会議を開催し、上陸前の情報共有や各課の体制の確認、上陸後の所管施設等の被害状況及び対応状況の報告などを行いました。それと同時に、市内11地区に各地区の担当職員（亀岡市でいう各町要員にあたる方々です）が参集し、避難者の受入れを想定した通信訓練や備蓄倉庫の資機材の確認、コロナ禍における避難所開設訓練などを実施しました。



訓練の様子①（災害対策本部会議訓練）



訓練の様子②（避難所開設訓練）



訓練の様子③（避難所での発熱者受入訓練）



訓練の様子④（各課での災害対応訓練）

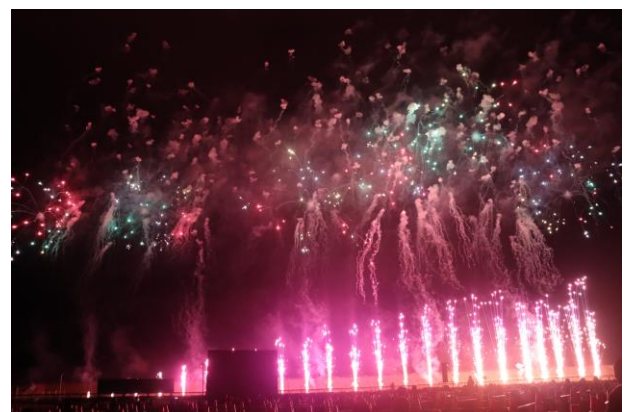
陸前高田市は東日本大震災で市庁舎及び消防庁舎が被災し、災害対策本部を市庁舎とは別の建物に移さざるを得なかったという、苦い経験をされています。そのため、今年５月に新庁舎が完成しましたが、災害対策本部は新庁舎の中ではなく、新庁舎から約 1.5 km離れた消防庁舎の中に設置することとなっています。震災後約 10 年間使用された仮設庁舎は消防庁舎の隣にあったため、これまでは災害対策本部に移動することはそれほど大変ではありましたが、今回の訓練では、市長を含めた各部課長の方々に実際に本庁舎と災害対策本部が設置されている消防庁舎とを往復していただき、移動にかかる時間を体験していただく機会となりました。また、同時に実施した避難所開設訓練は、陸前高田市では初めてとなるコロナ禍における避難所開設訓練となりました。亀岡市においても昨年度、避難所内での密を避けるための段ボールベッドやパーティションなどの資機材を購入し、検温や消毒、避難者の健康観察などの実施や発熱者のゾーニングの実施など、コロナ禍における避難所開設訓練を実施しました。今回の訓練では、陸前高田市の避難所開設担当職員についても、段ボールベッドやパーティションなどの資機材の設営、発熱者を受け入れる際の対応方法などについて、実戦形式で訓練を実施していただき、コロナ禍における避難所開設の注意点などを確認していただきました。今後は、今回の訓練結果を踏まえ、各課とのヒアリングを行い、風水害版のBCP（業務継続計画）を作成する予定です。

2 三陸花火競技大会 2021 について

10月9日に、今年の国内最大級の花火競技会である「三陸花火競技大会 2021」が陸前高田市内で開催されました。この大会は、三陸沿岸の観光振興、交流人口の拡大を図ることを目的として、全国の花火師が集まり腕を競う、三陸沿岸では初となる競技大会です。打ち上げ時間は、音楽と花火を融合させた「ミュージックスターマイン」と、全国の花火会社23社による「競技大会」を合わせて、約90分間実施されました。私も、職場の上司や同僚と一緒に、会場で花火を鑑賞させていただきました。



花火大会の様子①



花火大会の様子②

今年は昨年につき、コロナ禍で全国の多くの花火大会が中止となりました。三陸花火競技大会についても、今年8月から9月にかけて約1ヶ月間、岩手県独自の緊急事態宣言が発令され、花火大会を開催することに対して賛否両論ある中での開催でした。しかし、花火大会当日は約1万2,000人の方々が来場され、会場では花火が打ち上がる度に歓声が上がっていました。また、私自身も大規模な花火の数々に非常に感動し、元気をもらいました。来年は全国各地で花火を観ることができるの良いなと心から思います。

3 陸前高田市派遣職員激励及び陸前高田市内視察について

10月25日に石野副市長と山内室長に陸前高田市にお越しいただき、陸前高田市長との面会の実施や市内の震災遺構などを視察していただきました。

短い時間ではありましたが、お二人からの激励を受け、残りの派遣期間も一層頑張ろうと決意を新たにしました。



陸前高田市長との面会の様子



市内視察の様子①（旧気仙中学校）



市内視察の様子②（奇跡の一本松）



市内視察の様子③（東日本大震災津波伝承館）

4 「第10回ツール・ド・三陸～サイクリングチャレンジ 2021～in りくぜんたかた・おおふなと」の様子について

10月31日に、陸前高田市及び大船渡市をサイクリストが巡る「第10回ツール・ド・三陸～サイクリングチャレンジ 2021～in りくぜんたかた・おおふなと」が開催されました。本イベントは、サイクリングを通じて被災地の復興状況や地域の実情などに理解を深めてもらうため、記録を競うものではなく、景色や食べ物などを楽しむ「ファンライド」として、震災翌年の平成24年に始まったイベントです。



出発前の様子



当日は東京パラリンピック女子自転車競技金メダリストの杉浦佳子さんも参加されました（写真中央）



休憩所の様子



ゴールする際の様子

昨年度はコロナの影響で中止となったため、2年ぶりの開催となりました。今年は10回目の記念大会ということで、全国から約330名が参加され、私も沿道の交通整理のスタッフとして大会に参加させていただきました。

今回のコースは一番長いもので約80kmあり、非常にアップダウンの激しいものとなっています。普段は車を利用しているため、何気なく通過している道路ですが、自転車でゆっくり走ること、沿道の風景などの変化を楽しむことができますと思います。私も次回は参加者として、大会に参加してみたいと思いました。